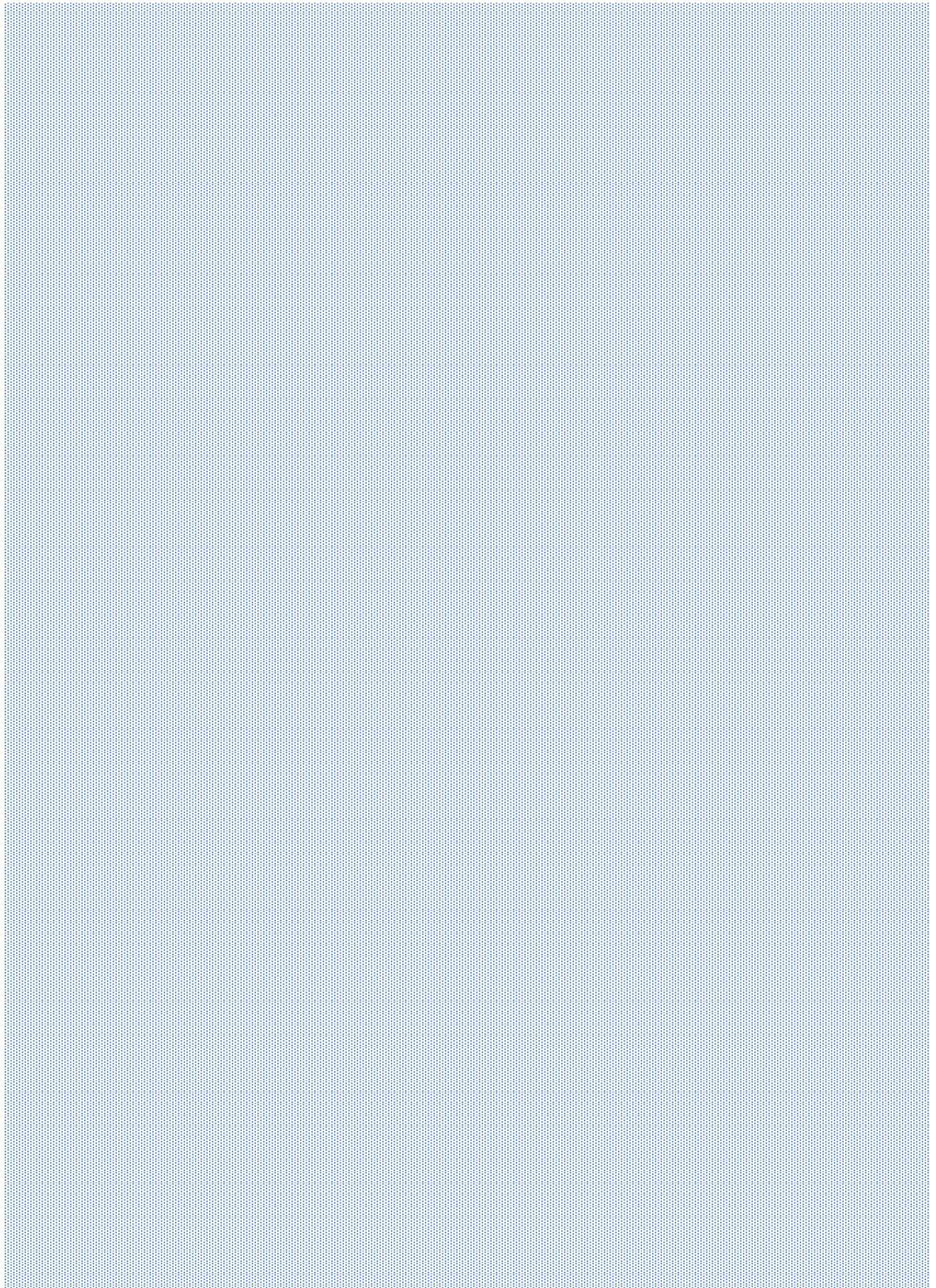


令和3年度 推薦に基づく入学者選抜

小論文

注意事項

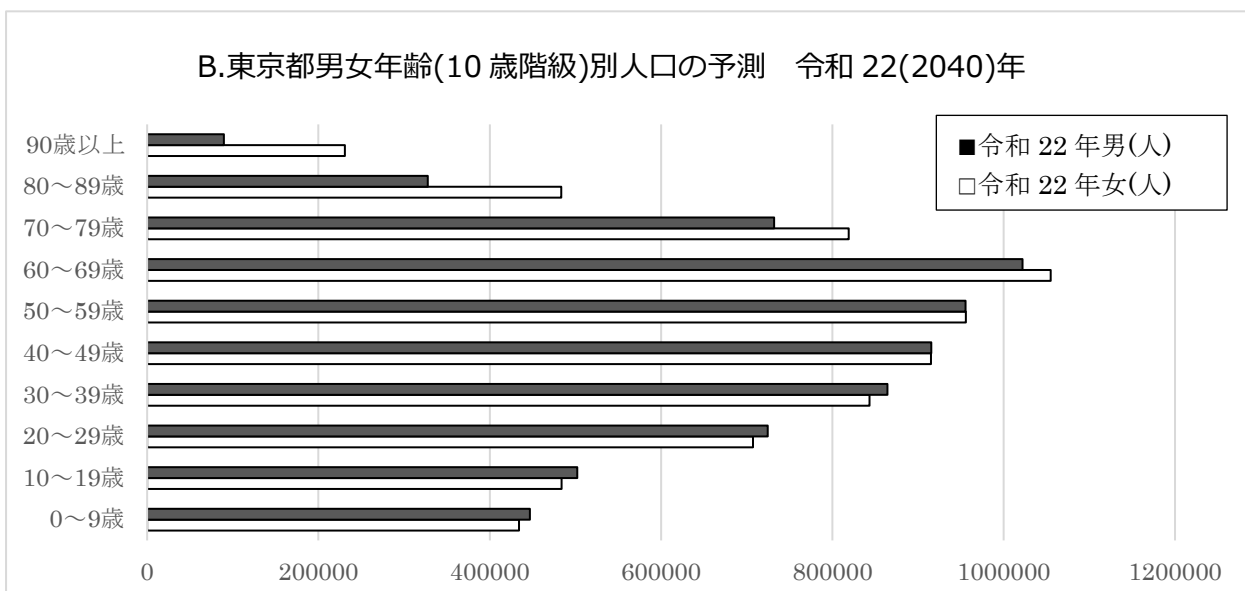
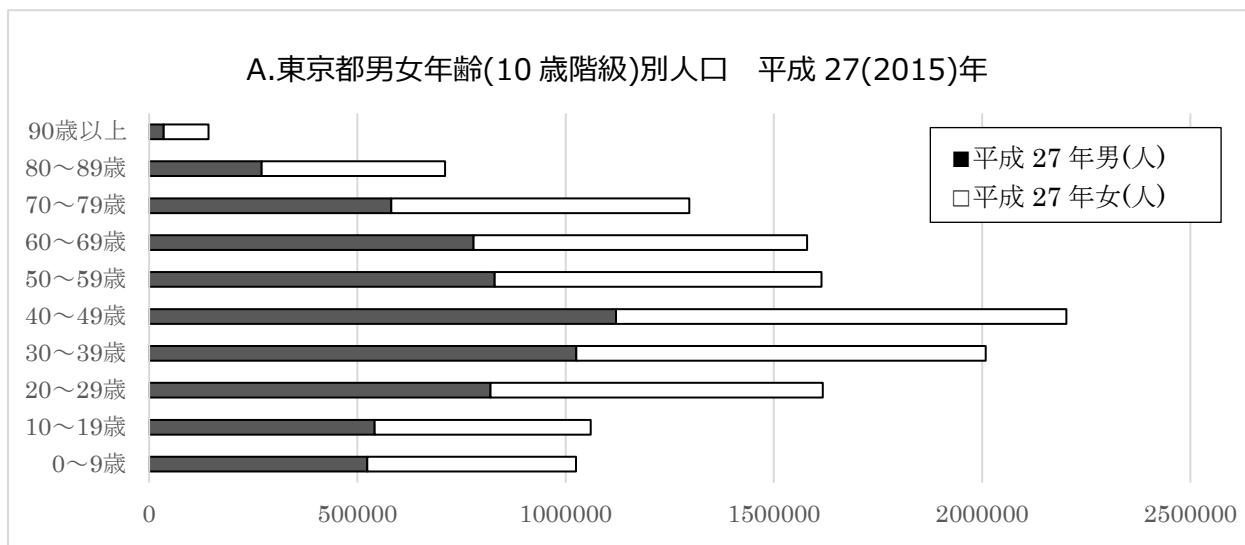
1. 問題は、2 ページにわたって印刷してあります。
2. 検査時間は 50 分で、終わりは 12 時 30 分です。
3. 声に出して読むではいけません。
4. 文章はすべて記述用紙に明確に記入し、記述用紙だけを提出しなさい。
5. 文章を直すときは、きれいに消してから書きなさい。
6. 受検番号は記述用紙の決められた欄に記入しなさい。
7. 記述用紙について
 - (1) 縦書きで書きなさい。
 - (2) 必要に応じて、段落を作ってもよい。作る場合は空白を 1 マスとして数える。
8. 問題の内容についての質問には一切応じません。



(余白)

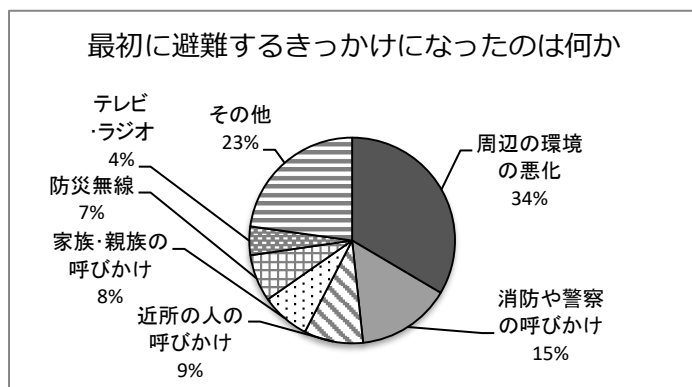
次の資料1～3に関する設問に答えなさい。

資料1. 東京都男女年齢別人口



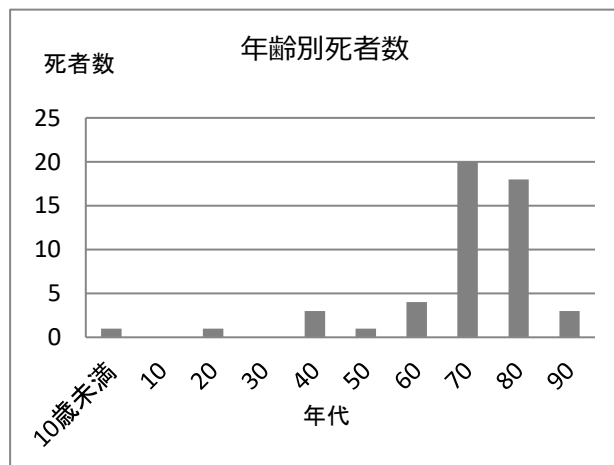
資料2. 平成30(2018)年7月に発生した豪雨による水害に関する、ある地域の調査結果

A. 避難を決定するきっかけ

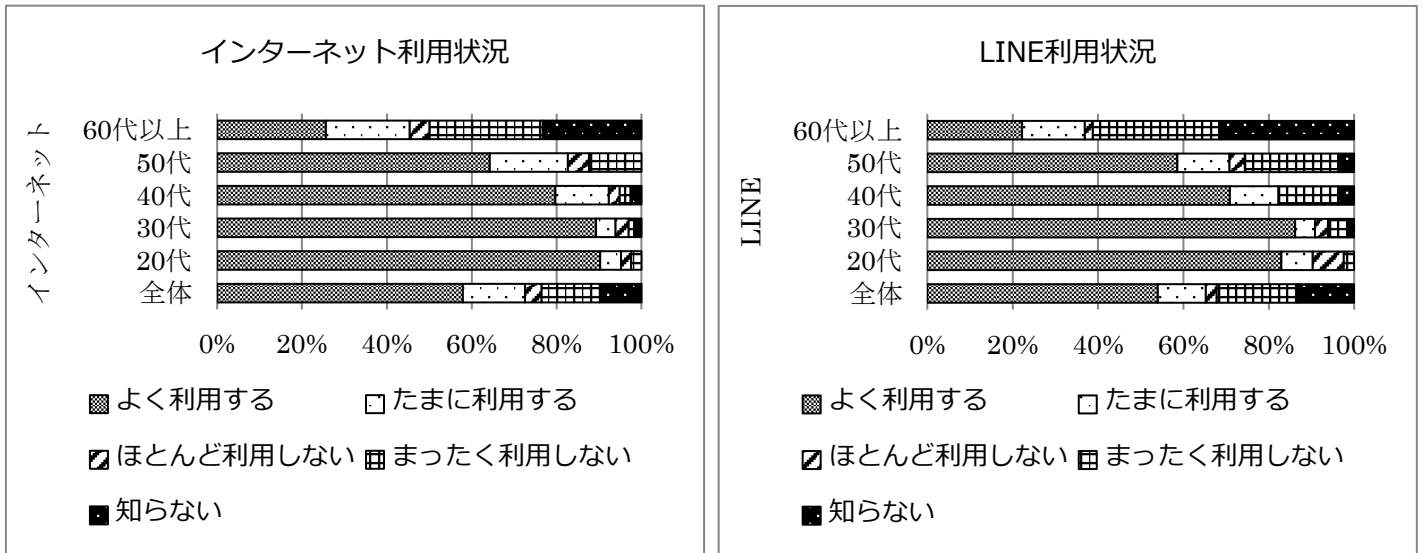


(NHK 被災者アンケート被災者 310 人対象)

B. 年齢別死者数



C.被災者の日常のICTの利用状況<年代別>



資料3. 令和2(2020)年7月の豪雨災害に関する新聞記事

浸水 700 棟でも死者ゼロ

山形県の最上川などが氾濫した7月末の豪雨で、同県内では住宅約700棟が浸水被害を受けたが、亡くなった人はいなかった。人家を巻き込む大規模な土砂災害が起きなかったことに加え、行政と住民の素早い避難行動が奏功(*注)した。(略)・・・全国各地で多数が犠牲になる災害が相次ぐ中、専門家はコミュニティーの力を評価する。

*注：功を奏すること。

<令和2(2020)年8月8日の新聞記事より抜粋>

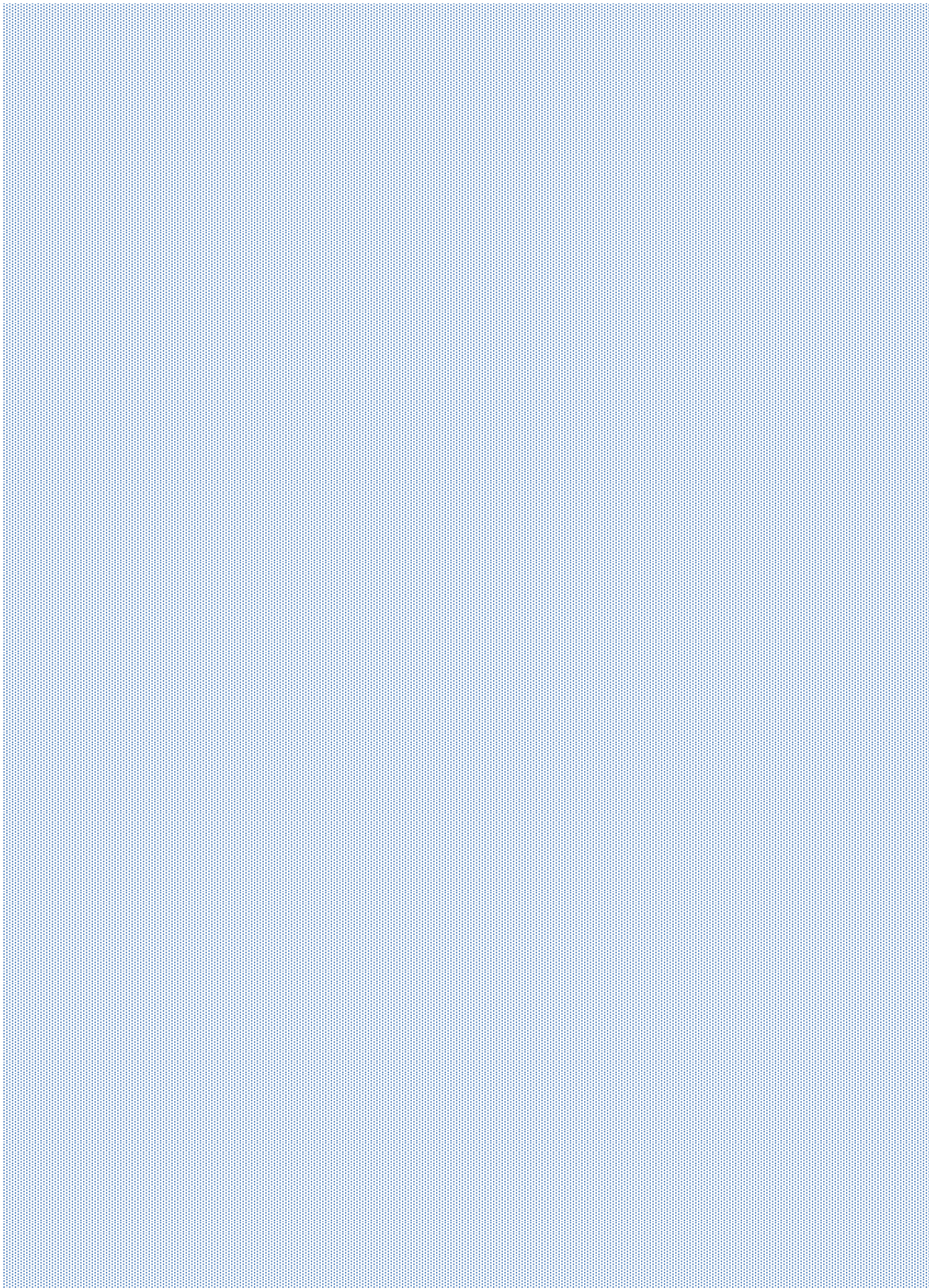
設問Ⅰ. 次のア～エについて、資料1のグラフの説明として正しいものには○を、誤っているものには×をそれぞれ解答欄に記入しなさい。

- ア 30歳から39歳の男女の人口の合計は、A、Bともに100万人を超えている。
- イ 10歳から19歳の男女の人口の合計は、A、Bともに120万人に達していない。
- ウ 60歳から69歳の男女の人口は、令和22年にはそれぞれ100万人を超えると予想されている。
- エ 10歳から19歳の男女の人口の合計は、令和22年が平成27年の半分以下になっている。

設問Ⅱ. あなたの住んでいる地域では、防災上どのような課題がありますか。その地域の特色をあげながら、100字以内で答えなさい。

設問Ⅲ. 災害の被害を抑えるためには、地域でのどのような取り組みが必要でしょうか。現在および将来の日本の課題と関連づけて、あなたの考えを400字以内で述べなさい。その際、資料1・2に言及すること。

(余白)



(3-調南)